

# 畜産物を探知するための『においセンサー』の評価

本研究の目的  
(課題)

- ・水際対策については、現在は主に動植物検疫探知犬を活用しているが育成面も含めてコストや負荷が課題
- ・国内への家畜伝染病の侵入防止のため「海外からの違法畜産物」をにおいセンサーで検知
- ・においセンサーでの代替によりコストや負荷を軽減し、水際対策の効率的・効果的な実施に貢献

## 将来的な水際対策への『においセンサー』の活用可能性を明らかにする

小課題 1)  
対象肉製品に対する  
臭気センサー反応検証  
及びセンサーの改良

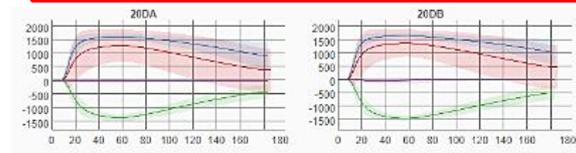


においセンサー

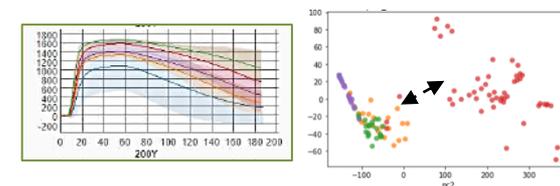
小課題 2)  
容器パッケージ内の  
対象臭気の  
センサー反応検証

<p>国産製サラミ</p>	<p>国産製ソーセージ</p>
<p>海外製ソーセージ(開封)</p>	<p>海外製ソーセージ(未開封)</p>
<p>新聞紙での包装</p>	<p>段ボール梱包</p>
<p>ポリ袋での包装</p>	

### 不正持込肉類の反応確認



### 測定データによる分析



### 活用可能性について

1. においセンサーの肉製品への反応の明確化
2. 包装状態、梱包材内の反応要件明確化
3. 今後、現場への導入に向けた課題の明確化